

報道関係者各位

2022年9月14日
シュナイダーエレクトリック

シュナイダーエレクトリック、石垣市役所に省スペースかつ災害に強いトータル IT インフラソリューションを導入

- ・ モジュール型 UPS への集約により、省スペースと電力容量の最適化を両立した災害対策を実現
- ・ 限られた空間でもコンテナシステムにより空調効率を最大化
- ・ インフラ管理ソフトウェアで各機器の状況の監視・運用を行い、安定稼働と業務効率化を実現

エネルギー管理およびオートメーションにおけるデジタルトランスフォーメーションのリーダーであるシュナイダーエレクトリックは、石垣市役所（所在地：沖縄県石垣市）に、空調、集約型 UPS、環境監視システム、免震装置といった当社のトータル IT インフラソリューションを導入し、省スペースかつ災害に強いサーバールームを構築したことを発表します。



石垣市は、石垣島をはじめとした八重山諸島の物流・経済の中心となる都市です。市民生活を支える機能の向上および、災害対策として、2021年11月に新庁舎へリニューアルしました。この市庁舎の移転・新築に伴って、老朽化が進んでいた市民の情報資産を守るサーバールームも一新されることとなりました。ただ、新庁舎といえどもサーバールームに大きなスペースを確保することは難しく、コンパクトにラックを設置できる、効率的な空調管理ができる、災害に備えて冗長化できることが求められていました。

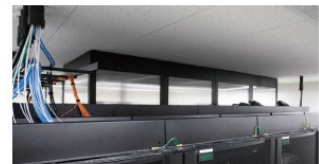


そこで、従来の小型 UPS からモジュール型 UPS「Symmetra LX」に集約することで設置面積を縮小し、内部冗長化による高可用性と拡張性を実現しました。また、機器の管理負担を減らし、電力容量も最適化することができました。

空調管理の面においては、IT 機器からの排熱をドアと天井で囲い込むコンテナシステム「HACS」を採用、限られた空間でも最大効率の空調を実現しました。さらに、温度や湿度を検知する「NetBotz」と「StruxureWare Data Center Expert」をにより、温度・湿度の監視を行い、アナログで監視を行っていた負担も減らすことができ、業務の効率化にもつながりました。

災害対策としては、「Symmetra LX」での冗長化に加えて、薄さわずか 3mm の低コストな免振装置も当社の提案により採用。省スペースながら災害に備えた環境作りをサポートしました。

そして、この空調、集約型 UPS、環境監視システム、免震装置のトータルソリューションを「EcoStruxure IT Advisor」を使って一元的に運用・管理し、課題であった災害に強い安定的なシステム稼働を実現しました。



今後もシュナイダーエレクトリックは、多様化するシステム環境や要望に合わせた製品やソリューションの提供を通じ、データセンターおよびサーバーームの効率的な運用に貢献していきます。

導入事例詳細はこちら https://www.apc.com/jp/ja/download/document/CR_Ishigaki_city/

ご紹介動画はこちら <https://youtu.be/GUyPjWQcKIc>

Schneider Electric について

シュナイダーエレクトリックは、あらゆる人がエネルギーや資源を最大限活用することを可能にし、世界の進歩と持続可能性を同時に実現することを目指しています。私たちはこれを「Life Is On」と表現しています。

私たちの使命は、持続可能性と効率性を実現するためのデジタルパートナーになることです。

世界をリードするプロセス技術やエネルギー技術と、エンドポイントとクラウドをつなぐ製品、制御機器、ソフトウェアやサービスとを、ライフサイクル全体を通して統合し、その統合された管理を住宅、ビル、データセンター、インフラストラクチャ、各種産業に展開することでデジタルトランスフォーメーションを推進します。

私たちは、最もローカルなグローバル企業です。社会にとって意義深い目的を持ち、多様な意見を取り入れ自ら行動するという価値観を持って、オープンスタンダードとパートナーシップエコシステムの拡大に尽力します。

www.se.com/jp

Life Is On

EcoStruxure

+ Lifecycle Services

Follow us on:      

Hashtags: #LifeIsOn #SchneiderElectric